

注文出荷制

FAX 0120-999-968

NUMABOOKSより3年振り(!)
新刊のご案内



MY LITTLE NEW YORK TIMES

いまアメリカで移民として生きるということ

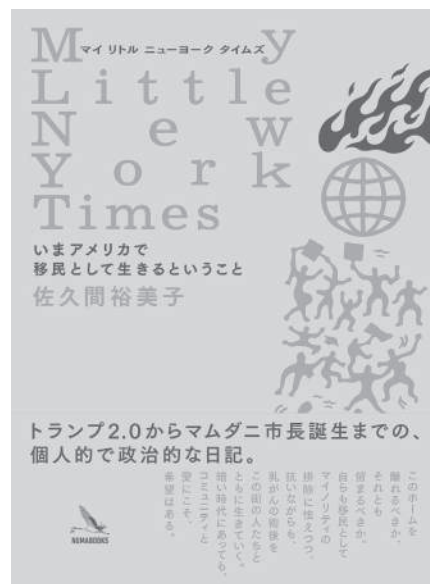
佐久間裕美子

米国中間選挙(11月)迫る今だからこそ読みたい、
「トランプ2.0からマムダニ市長誕生までの、個人的で政治的な日記。」
ぜひ展開ご検討ください!

このホームを離れるべきか、それとも留まるべきか。自らも移民としてマイノリティの排除に怯えつつ、抗いながらも、乳がんの術後をこの街の人たちとともに生きていく。暗い時代にあっても、コミュニティと愛にこそ、希望はある。

いま、アメリカで何が起きているのか。トランプ第2次政権の発足、移民への締め付け、大学キャンパスでの抗議運動、初のムスリム系ニューヨーク市長の誕生——そして2026年中間選挙へと続く激動の時代を、ニューヨーク在住30年のライター・佐久間裕美子が渦中の街から書き続けた日記を一冊に。乳がんの術後の日々を送りながら、コミュニティの連帯の中に希望を見出していく。政治と個人の日常とが分かちがたく結びついた、この時代のドキュメント。

*本書はSubstackで配信するニュースレター「Sakumag」に著者が綴った日記「My Little New York Times」(2025年1月20日～11月8日)を加筆・修正したものです。



佐久間裕美子(さくま・ゆみこ)

ライター／アクティビスト ニューヨークを拠点にアメリカと日本を往復しながら、政治、社会、文化について考察・執筆する。著書に『今日もよく生きた』(光文社)、『Weの市民革命』(朝日出版社)『真面目にマリファナの話しよう』(文藝春秋)、『みんなで世界を変える!小さな革命のすすめ』(偕成社)、翻訳書に『編むことは力』(岩波書店)など。Sakumag Collective主宰。個人ZINE最新作は『乳がんになってたくさんの天使と出会いながら自分は自分としてしか生きられないと改めて確認した旅の記録』。日記形式の著書『My Little New York Times』は2018年に刊行したもの(2017年7月5日から1年間の記録。NUMABOOKS刊)に続いて本書が2冊目となる。

フェア展開ご希望の書店様へ

フェア展開をご検討の書店様向けに、佐久間裕美子さんによる選書リストを準備中です。ご希望の方は、件名を「MLNYTフェア希望」とし、弊社メールアドレス<pub@numabooks.com>宛にお送りください。リストがまとまり次第、お送りいたします。

2026年9月4日発売
FAX 0120-999-968

新刊 9/1頃 発送予定	佐久間裕美子『My Little New York Times いまアメリカで移民として生きるということ』 © 2026/9/4 発売 ©ブックデザイン=宮越里子 ©発行= NUMABOOKS ©ISBN= 978-4-909242-13-6 C0036 ©仕様= 四六変形判 / 304ページ / 並製 ©定価:2,200円 +税	冊
--------------------	--	---



トランスビューの取扱で納品します。直接取り引きの条件は、トランスビューの商品とすべて同じです(返品随時可能)。取次ルートの場合は、買切り・返品不可となります。トランスビューとお取引がないお店からのご注文の際は、小社よりご連絡いたします。「BOOKCELLER」受発注Webにも対応しております。ご注文は1冊からお気軽にどうぞ。

貴店名

ご担当:

様